YAGI

CS/BS
2610MHz 対応

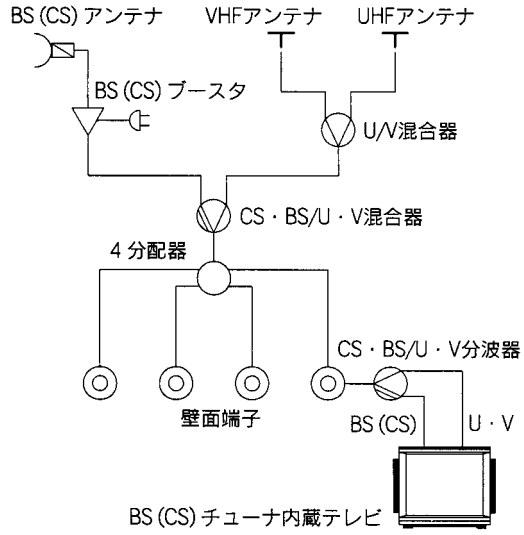
取扱説明書
CS・BS/U・V 混合・分波器
CBS-S30B

お買いあげいただきありがとうございました。
ご使用の前に、この**取扱説明書**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もこの**説明書**は大切に保存し、必要なときにお読みください。

◆特　長

- 10～2610MHz対応のCS-IF・BS-IFとHF・FM・VHF・UHFの室内用混合・分波器です。
- CS・BS一混合端子間電流通過形です。(最大AC 30V 1A, DC 15V 0.8A以下)
- 本器は、JEITA「デジタルハイビジョンマーク衛星放送ホーム受信用アンテナ・機器」の登録品です。
- JEITAデジタルハイビジョン受信マークは、(社)電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで、衛星放送及び地上デジタルハイビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

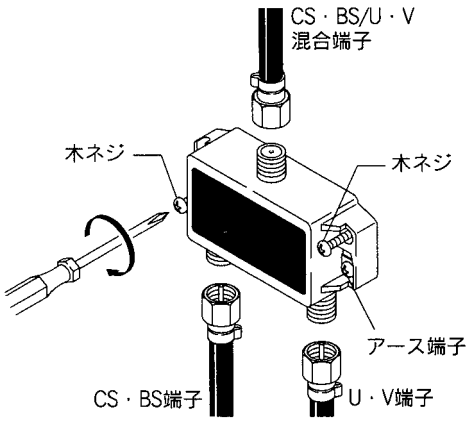
◆使用例



◆ケーブルの接続方法

- 本体を固定する場合には、本体付属の木ネジで壁面等に固定してください。
- 5C用接栓を付属しておりますので、ご利用ください。
- S4CFBを使用する場合は専用の接栓を別途お買い求めください。

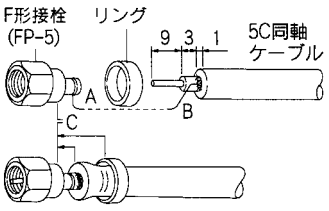
①本体を壁面に固定します。
※本体付属の木ネジで取付けてください。
②ケーブルを接続します。
※CS・BS一混合端子間電流通過形です。
(最大AC 30V 1A、
DC 15V 0.8A以下)

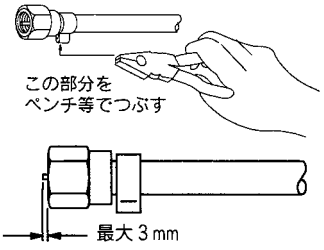


◆F形接栓の加工方法

単位：mm

①ケーブルの種類と接栓の種類を合せてください。
②ケーブルを図のように加工してください。
③リングにケーブルを通してください。
④接栓A部をケーブルB部の絶縁物又はアルミ箔と外被導体の間に回しながらC部まで押し込んでください。
⑤リングと外被を一緒にペンチ等で強く締め付けてケーブルが抜けないようにしてください。
⑥ケーブルの中心導体をニッパー等で切断してください。





⚠注意

- ケガの原因となることがありますので、カッターナイフ・ニッパー等の使用については十分にご注意ください。又、芯線が指等に突き刺さらないようご注意ください。
- 中心導体が3 mm以上でていると先端がケース側結合部の奥に当たりますので注意してください。接続不良になる場合があります。

◆標準性能表

HF (10～70MHz)、FM. VHF (70～300MHz)、UHF (300～770MHz)
BS…BS-IF (950～1336MHz)、CS1…CS-IF1 (1336～2150MHz)、CS2…CS-IF2 (2150～2610MHz)

形　名	インピーダンス (Ω)	V. S. W. R						通過帯域損失 (dB)						阻止帯域減衰量 (dB)					
		HF	FM・VHF	UHF	BS	CS1	CS2	HF	FM・VHF	UHF	BS	CS1	CS2	HF	FM・VHF	UHF	BS	CS1	CS2
CBS-S30B	75	1.6			1.8	2.2	2.5	1.3			1.8	2.0	2.5	20			20	20	18

●この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

DGCAC008A-04.9©